

平成二十九年十一月三十日提出
質問第七三三号

北部九州での次世代自動車産業の拠点化に関する質問主意書

提出者 城井 崇

北部九州での次世代自動車産業の拠点化に関する質問主意書

北九州市では、地方創生を進めるための重要な施策として「次世代自動車産業の拠点化」を掲げ、北九州市学術研究都市を中核とする完全自動運転技術の開発や高度専門人材の育成、地元企業の開発力の向上、地元研究開発機関への人材の供給、企業誘致等を推進し、次世代自動車の開発・実証・生産拠点化に取り組んでいる。

そこで、北部九州での次世代自動車産業の生産・研究開発拠点化をさらに推進する必要性に鑑み、以下質問する。

一 自動走行関連技術は今後イノベーションが急加速する分野の一つであり、人工知能を活用した完全自動運転技術の開発及び実証走行に対する国としての財政支援措置が特に必要であると考えますが、政府の見解を示されたい。

二 次世代の自動運転技術の開発を担う高度専門人材の育成に対しても、国として財政支援措置を行うべきであると考えますが、政府の見解を示されたい。

三 企業の技術開発や設備投資を活性化することにも有効な投資コストの低減に直接作用する、自動車関連

企業による先端技術開発や設備投資に対する財政支援措置を国として行うべきと考えるが、政府の見解を示されたい。

右質問する。